

令和5年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

—震災遺産と地域文化の継承を目指して—

日時：令和6年1月8日（月曜・祝日） 13時から16時まで

開催方法：会場120名、Zoomによるオンライン300名

主催：東北大学災害科学国際研究所、国立国会図書館

後援：デジタルアーカイブ学会

13:00 オープニング

開会の挨拶

東北大学災害科学国際研究所所長 栗山 進一

趣旨説明

東北大学災害科学国際研究所教授 今村 文彦

13:05 事例報告

震災後収集資料の整理・活用における現状と課題

大熊町教育委員会 教育総務課 副主任学芸員 苧坪 祐樹

とみおかアーカイブ・ミュージアムの歴史資料と震災遺産の保存活用

富岡町教育委員会 生涯学習課 課長補佐 三瓶 秀文

震災遺構浪江町立請戸小学校が伝えたいこと、今後の課題について

浪江町教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育係 主査 渡邊 祐典

双葉町における震災資料保全の取り組みについて

双葉町総務課長 兼 秘書広報課長 橋本 靖治

14:25 進捗報告

これからのアーカイブに望むこと—ポータルサイト「ひなぎく」の経験から—

国立国会図書館電子情報部主任司書 井上 佐知子

震災アーカイブの意義について—みちのく震録伝の経験から—

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛

14:55 (10分休憩)

15:05 パネルディスカッション

震災遺産と地域文化の継承を目指すなかでの課題について

(進行) 柴山 明寛 (パネリスト) 上記報告者全員

15:58 クロージング

閉会の挨拶

国立国会図書館電子情報部主任司書 井上 佐知子